

日本語日本文学科 古典芸能コース
古典芸能講読Ⅱ 特別講義



狂言



大蔵流狂言方

善竹隆司氏・善竹隆平氏

を迎えて

「**仏師**」上演

狂言「**仏師** (ぶっし)」あらすじ

新しく堂を建立した田舎者がそこに安置する仏を買いに上京する。それを知ったすっぱ（*詐欺師）は仏師になりすまし、等身大の吉祥天女を明日までに作ろうと約束する。すっぱは自分で面を着けて仏となり、仏と仏師の両方を演じ分ける。印相を直してくれという田舎者の注文のたびに、仏師になったり仏になったりするが、注文がたび重なり、結局、見破られてしまう。
(『能狂言必携』より)

日時：平成24年10月16日（火）13時00分～14時30分
会場：体育文化ホール地下 トレーニングルーム1

【講師紹介】

善竹 隆司（ぜんちく・たかし）氏

1973年生まれ。善竹忠一郎氏長男。1978年『靱猿』で初舞台。2003年より隆平氏と「善竹狂言会」主催。兵庫県立宝塚北高等学校演劇科講師、大阪芸術大学舞台芸術学科講師。平成10年度神戸ブルーメール賞、平成15年度兵庫県芸術奨励賞・大阪文化祭奨励賞、第3回神戸キワニス文化賞を受賞。第9回善竹兄弟狂言会「朝比奈」の演技で平成23年度大阪文化祭賞受賞。

善竹 隆平（ぜんちく・りゅうへい）氏

1977年生まれ。善竹忠一郎氏次男。1982年『靱猿』で初舞台。平成10年度神戸ブルーメール賞・大阪文化祭奨励賞、平成15年度兵庫県芸術奨励賞、第3回神戸キワニス文化賞、平成18年度芸術祭新人賞受賞。第9回善竹兄弟狂言会「朝比奈」の演技で平成23年度「大阪文化祭賞」受賞。

協力：古典芸能研究センター